

## 財務諸表で見るのは1か所だけ!?画期的な経営入門書

日本一やさしい  
経営の教科書

12月18日(金)発売

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は小井土 まさひこ著『日本一やさしい経営の教科書』を2020年12月18日(金)に刊行いたします。

## とにかくシンプルで結果が出る!

介護業界で右肩上がりの成長を続ける会社経営者による経営入門書。「教育をしても社員は聞いていない。“ザル”だと思うこと」「経営計画書はまねをしてつくる」「資金繰りが苦しくてもニコニコしていれば銀行はお金を貸してくれる」など、一見“非常識”な教えが並びますが、いずれも著者が実践し、また若手経営者にアドバイスをを行い、成果をあげてきたものばかり。経験の浅い経営者、これから起業する人に役立つ36のポイントを解説。

## 書籍名:日本一やさしい経営の教科書

刊行日:2020年12月18日(金) 価格:1,650(税込)

著者名:小井土 まさひこ ページ数:216ページ

ISBN:978-4-86667-178-9

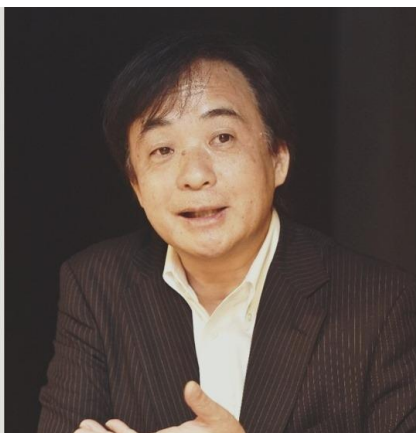
## 【目次】

第1章 「ヒト」の章

第2章 「おカネ」の章

第3章 「社長」の章

## 【著者プロフィール】



小井土 まさひこ

(こいど・まさひこ)

株式会社こもれび代表取締役  
株式会社K・サポート代表

群馬県甘楽郡出身。同志社大学卒業後、外資系製薬会社に13年間勤務。医療法人の立ち上げにかかわり、2009年、株式会社こもれびを創業。デイサービスなどの介護事業、高齢者住宅、福祉事業、ホットヨガを展開。群馬県、埼玉県の13拠点で25事業を運営する。高齢者住宅の入居率は常に95%以上を維持し、仕組み化と内勤一元化により、誰でも施設長になれる経営ノウハウを実践。2015年以降、毎年増収増益を続けており、また、既存施設の運営サポートも行っている。



社員教育は“ザル”でいい



水をすくっても残らないザルだと考える。それくらい社員の頭には残っていない。だから濡れているだけでよしとする。繰り返していくうちにザルの目がとじ、教育の成果が少しずつたまっていく。

財務諸表で見るのは1カ所だけ



創業当初から財務諸表が読めていたらストレスで病気になってしまう。見るべきは貸借対照表の流動資産の「現預金」のみ。現金があれば会社はつぶれない、どれだけあるかと変動の傾向をつかむ。

マネでもいい。経営計画書は今すぐ作る



マネでもすぐに作るべき理由は4つ。

- ①「今期の売上目標はいくらなのか」を視覚化する
- ②経営方針を明確にする
- ③従業員に社長の想いや経営計画を知ってもらう
- ④金融機関さんから融資を受ける

特に③は、社員が関心を持って目を通すのには長い年月がかかるため、できるだけ早く作る必要がある。